

「首都圏大規模災害の対策と医療」 ～綾瀬のポテンシャル～

一般財団法人 都市防災研究所 理事
東京駅周辺防災隣組 副代表 事務局長
守 茂昭

(2023. 9. 10)

■ DCP施設連携イメージ図



◎後方支援拠点～今までにない防災計画～

◎岩手県遠野市の後方支援拠点計画

◎神奈川県 of 災害時広域受援計画

◎DCPを支えるインフラ

後方支援拠点 ～岩手県遠野市の功績～

三陸沖では過去に大きな津波災害が繰り返し起きてきたことから、遠野市は震災前の平成19年に、いざという時には沿岸市町村を支援する基地になるという構想をまとめました。そして平成20年には自衛隊や警察、消防などが参加した大がかりな訓練を実施し準備を整えてきました。本田敏秋市長は阪神・淡路大震災の時に、岩手県の防災課長で、市町村連携の重要性を学んだといいます。その取り組みが生きました。自衛隊や警察、消防、医療チームが遠野市を基地として利用し、およそ3500人が活動しました。また全国のボランティア数千人が市内の100ヶ所以上の公民館や集会場などを拠点に被災地にでかけました。さらに市民はおよそ14万個のおにぎりを作って、被災地に届けたりボランティアに提供したりしました。

(NHK時事公論 山崎 登)

遠野市「後方支援資料館」

<http://www.city.tono.iwate.jp/index.cfm/50,31346,308,html>

神奈川県 災害時広域受援計画

神奈川県保健医療救護計画

災害拠点病院(1)

二次保健医療圏	災害拠点病院
横浜北部	昭和大学藤が丘病院
	横浜労災病院
	昭和大学横浜市北部病院
	済生会横浜市東部病院
横浜西部	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
	けいゆう病院
	横浜市立市民病院
	国立病院機構横浜医療センター
横浜南部	横浜市立大学附属市民総合医療センター
	済生会横浜市南部病院
	横浜市立大学附属病院
	横浜南共済病院
	横浜市立みなと赤十字病院

神奈川県保健医療救護計画

災害拠点病院(2)

二次保健医療圏	災害拠点病院
川崎北部	聖マリアンナ医科大学病院
	帝京大学医学部附属溝口病院
	川崎市立多摩病院
川崎南部	川崎市立川崎病院
	関東労災病院
	日本医科大学武蔵小杉病院
相模原	北里大学病院
	相模原協同病院
	津久井赤十字病院
横須賀・三浦	横須賀共済病院
	横須賀市立市民病院
湘南東部	藤沢市民病院
	茅ヶ崎市立病院

神奈川県保健医療救護計画

災害拠点病院(3)

二次保健医療圏	災害拠点病院
湘南西部	平塚市民病院
	東海大学医学部附属病院
	秦野赤十字病院
県央	厚木市立病院
	大和市立病院
県西	小田原市立病院
	県立足柄上病院

神奈川県を受援計画(1)

第1次進出拠点(県央)

中井パーキングエリア
足柄サービスエリア(静岡県)

第2次進出拠点(県央)

県立厚木高校(厚木市)
県立弥栄高校(相模原市)
県津久井合同庁舎(相模原市)

神奈川県受援計画(2)

活動拠点(県央、綾瀬)

綾瀬市市民文化センター
綾瀬スポーツ公園

広域物資拠点(第2次進出拠点(県央)と一致)

県立厚木高校(厚木市)
県立弥栄高校(相模原市)
県津久井合同庁舎(相模原市)

広域防災活動備蓄拠点

県総合防災センター(厚木、全県カバー)

神奈川県 の 広域 受援 計画 (3)

ヘリコプター臨時発着所(県指定)

県総合防災センター(厚木)

厚木市営厚木野球場

厚木市酒井スポーツ広場

物資受入港(県央想定)

湘南港

大磯港

真鶴港

神奈川県保健医療救護計画

航空搬送拠点臨時医療施設
(ステージングケアユニット:SCU)

海上自衛隊厚木航空基地

藤沢で重傷を負った人も伊勢原で重傷を負った人も、広域搬送が必要なら厚木基地から遠くの病院へ離陸する。

新宿で重傷を負った人も大田区で重傷を負った人も、近くで治療できなければ飛行機で厚木基地に来る(かもしれない)。